

# 会社(営業)経歴書

創業 1923年(大正12年)  
設立 1954年(昭和29年)

株式会社 **横田計器製作所**  
代表取締役 横田 賢次郎  
東京都台東区秋葉原3番7号  
〒110-0006 TEL 03-3251-7088  
FAX 03-3251-7084  
E-mail: info@yokotakeiki.co.jp  
URL <http://www.yokotakeiki.co.jp>

- 1923年(大正12年) 横田四郎 吉次製作所(吉次徳太郎氏)より独立する  
計量器の販売免許を取得し創業-東京市本郷区根津須賀町
- 製作免許を持つ「東京計量器製造合資会社(大正11年設立)」に参加し  
その名の下で作っていた  
-吉次徳太郎氏は関東大震災で亡くなり、この時点で実質独立だった  
当時は国家の管理による免許制度で製作免許、販売免許と分かれてお  
り審査がとても厳しく認可がなかなか下りない状況だった  
製作販売能力だけでなく資産も審査の対象だった
- 関東大震災で壊れた中央度量衡検定所の基準浮ひょう(比重計)を  
製作し納品する
- 1936年(昭和11年) 計量器の製作免許も取得する  
-東京市神田区東松下町に移転する
- 1944年(昭和19年) 海軍省の監督工場に指定される
- 1945年(昭和20年) 海軍省の要請により工場を宮城県仙台市に疎開する  
-当時は全品検定の時代で、仙台工場で製作した製品を東京の  
中央度量衡検定所まで夜行列車で持参して検定を受けていた  
戦争の激化で上京が困難になったため仙台での検定を当局に要請  
戦後検定所が設置された
- 第二次世界大戦で壊れた中央度量衡検定所の各種基準浮ひょうを  
製作し納品する
- 1948年(昭和23年) 仙台市の工場はそのまま残し本社機能を東京へ戻す  
現在地で製作を再開する(台東区秋葉原)  
-神田区東松下町の工場は戦災で消失したため再開できなかった
- 1954年(昭和29年) 個人組織を改組し有限会社横田計器製作所を設立する
- 代表取締役横田四郎が就任する
- JIS比重計専門委員会委員になる-横田四郎
- 実用新案登録20922号 ガソリン用比重計

- 1955年(昭和30年) 通商産業省中央計量検定所の推薦により中華民国標準局に  
基準比重計24本組等各種基準浮ひょうを納品する  
-中華民国の標準器となる
- 1958年(昭和33年) 国税庁に徴税用計量器(酒精計 比重計 ボーメ計等)を納入する  
-以後 継続される
- 1961年(昭和36年) アメリカ合衆国輸出市場調査団の一員として訪米する-横田四郎  
標準局(NBS-現在はNIST)と同国最大の硝子メーカーのコーニング社  
を参観する
- 日本で初めてLPガス用比重計を製作し販売を始める  
(日本石油ガス(株)の協力で試作をおこなった)
- JIS委員として石油類比重計に関する意見をのべる-横田四郎
- 1964年(昭和39年) 実用新案登録752815号 比重計
- 1965年(昭和40年) 仙台工場を有限会社横田温度計製作所として分離する
- 1966年(昭和41年) 東京都計量協会会長より表彰される-横田四郎
- 1968年(昭和43年) 日本計量機器工業連合会長より表彰される-横田四郎
- 1970年(昭和45年) 東京都経済局長より表彰される-横田四郎
- 1971年(昭和46年) 東京都足立区大谷田に工場を新設する
- 専務取締役横田賢次郎が就任する
- 1973年(昭和48年) 東京科学機器協会主催 アヘマ科学工業展視察団に参加-横田四郎  
-西ドイツ フランクフルト市
- 実用新案登録 1024130号 比重計
- 1975年(昭和50年) 東京科学機器協会主催全日本科学機器展に出品する
- 1976年(昭和51年) 通商産業大臣より計量関係功労者として表彰される-横田四郎
- 1977年(昭和52年) 本社社屋改築なる

- 1979年(昭和54年) アハマ科学工業展(フランクフルト)を参観-横田賢次郎  
硝子加工機械購入のためアーノルド社を訪問  
  
東日本計量器工業協同組合相談役になる-横田四郎
- 1981年(昭和56年) 通商産業大臣よりL P ガス用比重試験器の製造特認を得る  
  
国立科学博物館から展示のための出品依頼により  
ニコルソン浮ひょうを製作し寄贈する
- 1982年(昭和57年) J I C A国際協力事業団の法定計量コース研修生の集団研修に協力  
-足立工場で実施
- 1984年(昭和59年) (社)日本計量器機工業連合会主催「日本計量計測機器展」に出品  
  
東京都高圧ガス防災訓練に協力 - L P ガス用比重試験器の安全な  
取り扱い方法を解説する
- 1985年(昭和60年) 東京都計量器コンサルタント協会理事に就任する-横田賢次郎
- 1986年(昭和61年) 中国計量測試学会・(社)日本計量機器工業連合会主催の  
「日本計量計測機器北京展覧会」に出展-北京市  
同技術交流会で「日本における比重計の製作と検査」を講演する  
-横田賢次郎  
同時に中国計量科学研究院を訪問し密度研究室をはじめとする  
各研究室を参観する
- 1987年(昭和62年) 大阪遼寧經濟協會主催「日本関西地区産業展覧会」に出展  
-中国遼寧省瀋陽市 遼寧省測試技術研究所を訪問し密度研究室  
温度研究室を参観する-横田賢次郎  
  
シンガポール政府へ基準密度計24本組を納入する
- 1988年(昭和63年) 「韓国国際計器展」「ソウル化学プラントショウ」を参観する  
-横田賢次郎  
大韓民国「国立工業試験院(NIRI)」検定部を訪問する(果川市)  
-横田賢次郎  
  
フィリピン政府へ基準密度計24本組を納入する  
東日本計量器工業協同組合理事になる-横田賢次郎

- 1989年(平成元年) 大韓民国「韓国標準研究所(KSRI)」(大田市)を訪問する  
-横田賢次郎  
中華民国「標準局」「標準局実験室」(台北市 新竹市)を訪問する  
-横田賢次郎
- 中華民国政府へ基準密度計24本組を納入する
- J I S改正委員会K 0 0 6 1 化学製品の比重測定方法他 9 件の  
改正案作成委員会委員に就任する-横田賢次郎
- 1990年(平成2年) 取締役会長に横田四郎が就任  
代表取締役社長に横田賢次郎が就任
- タイ王国「工業標準化計量試験センター」へ基準密度計24本組と  
L P ガス用密度試験器を納入する
- 「中華民国台北市第 4 届儀器展示会」を参観する-横田賢次郎
- 1991年(平成3年) 衡量法密度計検査装置を東京都計量検定所に納入する
- シンガポール標準産業研究所(SISIR)を訪問する-横田賢次郎  
マレーシア国基準及び工業研究所(SIRIM) //  
タイ王国科学技術研究所(TISTR) //
- 1992年(平成4年) 通商産業省計量行政審議会特定計量器技術基準等作成WG委員に  
就任する-横田賢次郎
- 1993年(平成5年) 純水製造装置を東京都計量検定所に納入する
- 中華民国經濟部主催のL P ガス計量器検定検査講習会の講師として  
横田賢次郎が招聘される  
台北市と高雄市で講演する
- 耐圧検定装置を東京都計量検定所に納入する
- 東京都中小企業団体中央会会長より表彰される-横田賢次郎
- 計量法の大改正により計量器製造事業登録が以後届出制になる  
(免許 許可 登録 届出と変わっていった)

- 1994年(平成6年) 「'94ソウル国際計測制御機器展」を参観する  
-横田賢次郎  
通産省計量行政室監修による「特定計量器解説書」の浮ひょう部分を執筆する-横田賢次郎
- (社)日本計量協会「OIML国際化対応調査研究委員会の計量作業委員」に就任する-横田賢次郎
- 1995年(平成7年) 緊急シャワー装置を東京都計量検定所に納入する
- LPガス体積計検査装置を中華民国標準局、台湾省度量衡検定所台北市度量衡検定所、高雄市度量衡検定所の4ヶ所に納入する
- 1996年(平成8年) 浮ひょう洗浄装置を東京都計量検定所に納入する
- 通商産業省工業技術院計量研究所にISO 649に規定されるL20シリーズ密度計70本を納入する
- 「JIS B7525 密度浮ひょう」JIS改正原案作成委員会委員に就任 密度計分科会会長になる-横田賢次郎
- 1997年(平成9年) インターネット上にウェブサイトを公開する
- (社)東京都計量協会理事に就任する-横田賢次郎
- (社)東京都計量協会会長より表彰される-横田賢次郎
- 第37回計量賞を受賞する-横田賢次郎
- (社)日本計量機器連合会「検定有効期間等見直し対応委員」に就任する-横田賢次郎
- 1998年(平成10年) 浮ひょう用耐酸洗浄槽を東京都計量検定所に納入する
- JICA国際協力事業団の法定計量コース研修生の集団研修に協力-足立工場で実施
- 北京市標準計量局職員研修に協力-足立工場で実施
- 1999年(平成11年) 簡易蒸留器を国税局に納入する(酒税の徴税用)

- 2000年(平成12年) 国税庁規格基準酒精計10本組を福岡国税局に納入する
- 東日本計量器工業協同組合理事長賞を受賞する-会社  
// -横田賢次郎
- 東京都生活文化局長賞を受賞する-横田賢次郎
- 不正軽油検査のための浮ひょうセットを東京都に納入する
- 2001年(平成13年) 東京都労働経済局長賞を受賞する-横田賢次郎
- 独立行政法人製品評価技術基盤機構「計量法校正事業者認定制度(JCSS)技術委員会分科会委員」に就任する-横田賢次郎
- JICA国際協力事業団の法定計量コース研修生の集団研修に協力-足立工場で実施
- 2002年(平成14年) 独立行政法人酒類総合研究所に徴税用計量器(酒精計)校正のための標準酒精計を納入する
- 独立行政法人製品評価技術基盤機構適合性評価センターに技能試験用標準密度計、標準酒精計を納入する
- 全日本硝子製温度計工業組合理事長に就任する-横田賢次郎  
東日本計量器工業協同組合理事長に就任する-横田賢次郎
- 東京都功労者として都民の日に東京都知事賞を受賞-横田賢次郎
- 2003年(平成15年) 計量法とOIML等との国際整合化を図るため 計量法に規定する「特定計量器技術基準のJIS化に関する調査研究委員会委員」に就任、浮ひょうWG主査となる-横田賢次郎
- 計量記念日に経済産業大臣から計量関係功労者として表彰される-横田賢次郎
- 2004年(平成16年) 香港エクソンモービル社にLPガス用密度計を納入する
- 2005年(平成17年) 独立行政法人海洋開発機構地球環境観測研究センターに精密な海水計を製作し納入する

- 2005年(平成17年) 独立行政法人酒類総合研究所に国税庁型日本酒度計セット、酒精計セット、重ボーム度計セット等納入する  
常用参照標準酒精計を納入する
- 名古屋国税局に徴税用密度計セットを納入する
- モンゴルのUniGas LLC.にLPガス用密度試験器を納入する。
- 神戸市に基準密度計を納入する
- 独立行政法人産業技術総合研究所に基準器検査用密度計を納入する
- 2006年(平成18年) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構適合性評価センター (NITE)に  
密度浮ひょう 酒精度浮ひょうを納入する
- 財団法人 日本品質保証機構 計量計測センター(JQA)に比重浮ひょう  
を納入する
- 経済産業省に酒精度浮ひょうを納入する
- 独立行政法人 酒類総合研究所に酒精度浮ひょうを納入する
- 独立行政法人 産業技術総合研究所に密度浮ひょう酒精度浮ひょうを  
納入する
- 東京国税局他に徴税用酒精度浮ひょうを納入する
- 全日本硝子製温度計工業組合と東日本計量器工業協同組合が統合し  
日本硝子計量器工業協同組合となる  
理事長に横田賢次郎社長が就任する
- 足立工場を改築する
- 2007年(平成19年) モンゴルのMGDC LLC.にLPガス用密度試験器を納入する
- 独立行政法人 産業技術総合研究所に密度浮ひょうを納入する
- 2008年(平成20年) 台湾 Garai にLPガス用密度試験器を納入する
- タイ 計量標準局にL20シリーズ密度浮ひょうを納入する

営業品目 浮ひよう基準器・浮ひよう標準器  
温度基準器・温度標準器  
浮ひよう（密度計 比重計 酒精計 しょ糖計 ポーメ計等）  
温度計 LPガス密度試験器 気象器械 理化学機器  
JIS規格品 ASTM規格品 各種特注品の製作販売  
校正 トレサビリティ諸表の発行

資本金 1.000万円

決算期 12月

取引銀行 みずほ銀行 上野支店  
三菱東京UFJ銀行 神田駅前支店

所属団体 日本硝子計量器工業協同組合  
(社)東京都計量協会  
東京都計量器コンサルタント協会  
東京計量士会

URL <http://www.yokotakeiki.co.jp>  
E-mail [info@yokotakeiki.co.jp](mailto:info@yokotakeiki.co.jp)

本社 東京都台東区秋葉原3番7号  
〒110-0006 TEL 03-3251-7088  
FAX 03-3251-7084

工場 東京都足立区大谷田3丁目8番22号  
〒120-0001 TEL 03-3605-6405  
FAX 03-3605-6402